

## 概況

令和5年12月末の交通基盤部発注工事等事故件数は、**37件**（前年同期39件）です。事故件数は昨年度と同水準で、昨年度発生した重大事故は無い状況が継続しています。

例年、工事稼働件数の増加に伴い工事事故も増加し、昨年度は1月に発生件数のピークになりました。現場の危険に対し、ちょっとした工夫から安全機器の使用などで、工事事故削減を進めるようお願いします。

## 安全対策の好事例

バックホウの運転席から周囲の状況を把握しにくい

重機の作業員との接触や第3者所有物の破損事故

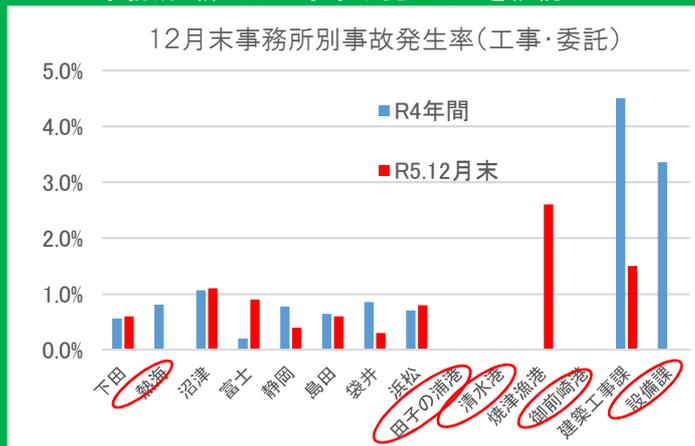
**360度カメラ・モニタ(アラウンドビューモニタ)**付きのバックホウの使用

旋回範囲内への立ち入りや、支障物の確認 → 安全性向上

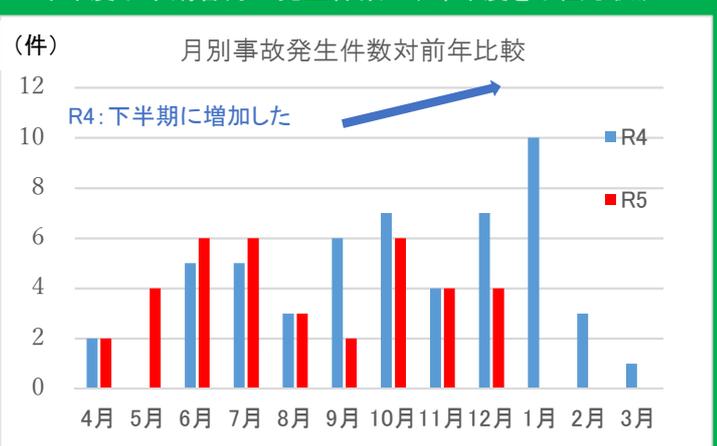


## 事故関連データ

▼ 4事務所1課では工事事故発生ゼロを継続！



▼ 今年度下半期各月の発生件数は、昨年度を下回る状況



※事故発生率(%) = 事故件数(件) / 工事・委託実施件数(件)

※R5.12月工事事故件数に、事故種別未確定分は含まず

## A- Press について

『A』は、ずばり安全（Anzen）のA

『A』は、アルファベットの最初の文字

工事等に当たり、安全は最も優先されます。  
安全意識の向上と情報共有のために、工事等の受発注者に毎月発信していきます。

### 【令和5年12月の工事等事故】

- 1 護岸補修工のモルタル注入作業の際、圧入ホースが抜けモルタルが飛散し車両に付着させた物損事故
- 2 維持修繕業務で、堆積した土砂をバックホウでダンプに積込む際、バケットで管路を破損させた物損事故
- 3 道路照明施設点検業務で、点検作業中に高所作業車で規制標識を引っ掛け損傷させた物損事故
- 4 解体工事で、産廃運搬車両が現場入口を通り過ぎたため後退したところ後続車と衝突した公衆傷害事故